



■ 概要 ■

1. 8m低サイドローブ受信空中線は、
「デジタルテレビ中継局受信空中線 標準仕様書 DTS310-002」に準拠した空中線です。

本空中線は、デジタル放送波中継において想定されるあらゆる局面に対応可能な空中線として開発され、送受非分離方式 (SFN) において必要とされる、自局からの回り込み波の抑圧および遠方他局からの同一チャンネルによる電波干渉 (不要波) 抑圧を目的としております。

■ 特徴 ■

1. 低サイドローブ化

30dB 以上の低サイドローブ化を水平方向、垂直方向共に実現しております。

2. 広帯域特性

本空中線はUHF全帯域をカバーするV.S.W.R. 1.4以下の広帯域特性 (約14ch幅)

3. 従来通りの設置方法

従来のグリッドパラボラと同様、方向調整ボルトにより同位置に設置できます。

■ 仕様 ■

		1.2m低サイドローブ受信空中線	1.8m低サイドローブ受信空中線
周波数帯域		13~62ch (470~770MHz) [約14ch幅]	
V.S.W.R.		1.40以下	
空中線利得		12.5dBi ~ 16.0dBi	15.0dBi ~ 20.0dBi
指向性	F/S	13~32ch	30dB
		33~62ch	30dB
	F/B	13~32ch	30dB
		33~62ch	30dB

F/Sの範囲: (主輻射の方向±半値角×2.25) ~ (±150°) 但し、()内は90°~110°

F/Bの範囲: (主輻射の方向±150°) ~ (±180°)

※耐雪仕様のプレートタイプも御用意できます。